

令和6年6月7日(金)

第54回放送教育研究会徳島大会
第54回徳島県小学校放送・情報教育研究大会
(会場校研究発表)

令和5・6年度

東みよし町立昼間小学校の取組

1 はじめに

◎昼間小学校 学校教育目標

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもたちの育成」



学習意欲を高め、基礎・基本的な知識・技能の習得
様々な活動を通して思考力・判断力・表現力の育成

2 研究主題について

(1) 研究主題

徳島県小学校教育研究会情報教育部会 令和5・6年度 研究主題

未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した教育活動の推進

ー一人一台端末環境における「個別最適な学び」と「協働的な学び」
の一体的な充実ー



令和5年度会場校研究主題

「未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した教育活動の推進」

◎県のサブテーマを参考に検討し、令和6年度の会場校のサブテーマを決定

【本校研究主題】

未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した教育活動の推進

一人一人の
よりよい学
びをめざ
し、

考えを広げ
る教育活動
の充実

つながりを
大切にする

関わり
合う

【県情報部会研究主題】

未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した教育活動の推進
～1人1台端末環境における「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の一体的な充実～

試行錯
誤する

一人ひとりの
学びをた
かめる

学びを
見つめ
る

自ら
学ぶ

自らの学び
を調整する

関わり
を大切
にした

共有
する

◎令和6年度 会場校研究主題

未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した
教育活動の推進

——一人一人のよりよい学びをめざし、
考えを広げる教育活動の充実——

(2) 研究の柱(3領域)

- ①情報モラルを育成する教育活動の推進(情報モラル)
- ②問題解決・探究の端末活用に関する教育活動の推進(情報活用)
- ③プログラミング的思考を育成する教育活動の推進(プログラミング)

3領域の授業の中で、必要に応じて、学校放送番組を効果的に活用した実践を行うこととする。

3 研究の実際

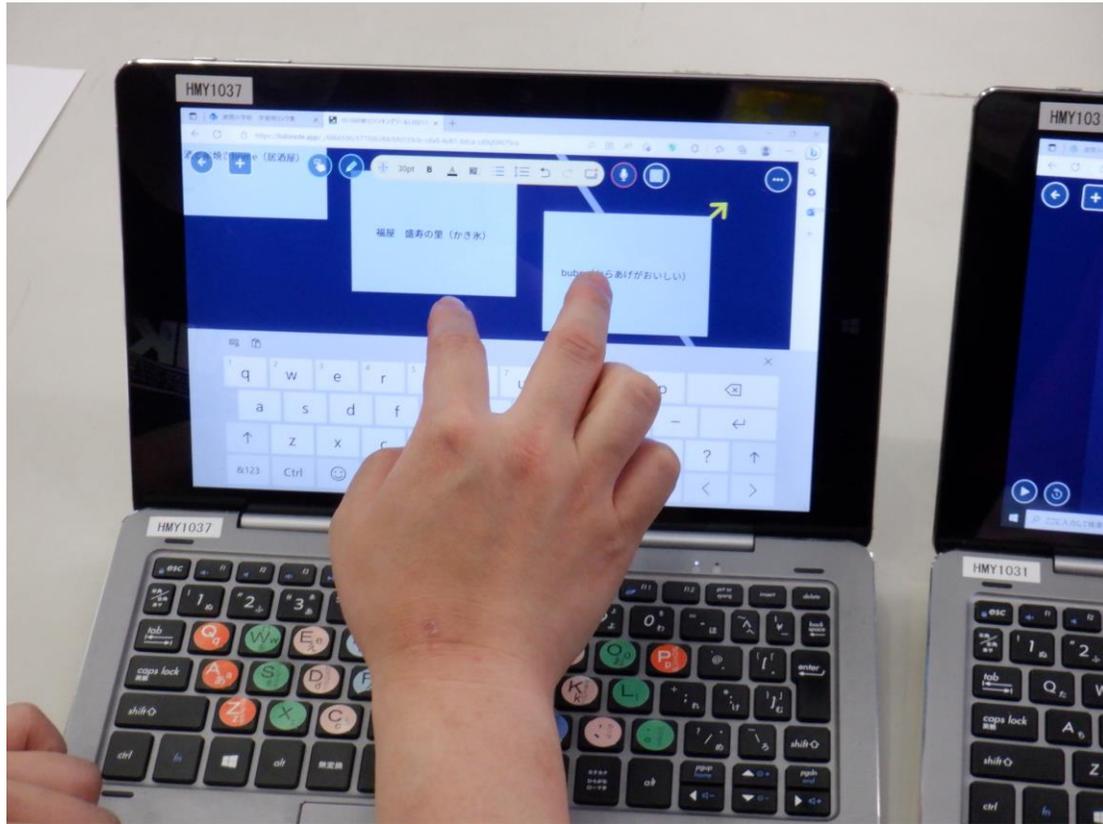
(1) 令和5年度秋季研修会に向けて

◎情報モラル、セキュリティ研修(4月) ICT教育支援員による説明



情報活用能力年間計画の検討(5月)

◎ロイロノート、思考ツールを全学年の授業で活用



ICT教育支援員によるロイロノート、思考ツールの使い方研修(5月)

◎徳島県情報教育部会研究計画等の説明(6月)



徳島県情報教育部会事務局長による研修

◎研究授業(6月)

(2年国語科)



(4年国語科)



(5年社会科)



◎研究授業(7月)

(1年国語科)



(3年算数科)



(6年国語科)



◎研究授業の振り返り(1~6年)

授業終了後、ジャムボードのシートに
参観者各自が書き込み、全員で共有

4年国語科の授業研究会



P (よかったところ)	M (改善するとよいところ)	I (気になるところ・質問)
<p>修正タイムを設けることで、1回目にうまく伝わらなかった場面でもAさんもBさんも互いに悔しやうで、次は伝えたい!という意欲づけになっていた。</p>	<p>説明をする場面で、クラゲチャートの全部を映しながら説明しており、自分の説明メモが見づらそうにしていたので、見たい部分を拡大したり操作しながら活用できた、いいかも</p>	<p>発表を聞くときは、タブレットを触らない。上の部分だけを机に置く場合は、直接置かず、筆箱を間に挟む(カメラを傷つけない)等の工夫。</p>
<p>説明のためのキーワードを事前にしっかり確認したり、説明メモに色分けをして貼り付けたりすることで、誰でも説明しやすく、使いやすいつ工夫がされていた</p>	<p>伝え合った感想を伝え合う時に、児童の1回目と2回目の絵を画面共有しながら説明させるとより伝わりやすかつたかも</p>	<p>今後の常時活動などに発展しますか?今スピーチなどしていますか?</p>
<p>伝え合った感想を発表する場面で、「はじめは...だったけれど、次は...だった。」と自分の言葉でしっかりと表現できるのができて、日々の指導のたまものだと感じた。</p>	<p>「伝える」ことが目的であるが、「自分の書いているものを読む」が目的になっているように見えた。</p>	<p>先生が話す量と子供が話す量について、また考えましょう</p>
<p>進め方がぶれないように、事前に手順が共有されていたこと。</p>	<p>だいいん・ちくわ・こんにやくなど、「ちくわの形がどれか分からん」といったように、おでんの形の概念が共有されていたか。</p>	

後日、対面で1~3年と4~6年に分かれて授業研究会

◎「Google for Education」ICT教育支援員による研修



2学期からのクロムブック使用にそなえて、8月（夏休み）に終日研修

◎学年別に授業者とともに授業研究・準備等の協力

- ・公開授業（3・5・6年）の指導案検討、掲示物作成等を担当（9・10月）
- ・T2として授業に入って、協力しながら指導



(2) 令和5年度秋季研修会

第53回徳島県小学校放送・情報教育秋季研修会

令和5年11月2日(木) 午後開催 37名参加

◎公開授業(3領域・3学級)

①情報モラル 3年 総合的な学習の時間 「メディアから考えよう」

②情報活用 5年 総合的な学習の時間

「一人一人が大切にされる避難所について考えよう」

③プログラミング 6年 総合的な学習の時間

「未来のふるさとを考えよう」

◎授業研究会(3・5・6年が同じ会場で)

◎公開授業の指導案の一部（5年総合的な学習の時間）

5年 33名 総合的な学習の時間
授業者 向井大輔

本時の目標
 だれもが安心して過ごすことができる避難所の在り方について考えることができる。

本時の評価（思・表）
 ○十分に満足できる状況
 ・さまざまな困り感を持ち、支援を必要とする人々の思いに寄り添いながら、だれもが安心して過ごすことができる避難所の在り方について考えている。（思考ツール）
 ・手立て
 事前の班での共同学習やフィールドワークでインタビューした内容や情報を基に自分の考えを表現することができるように適宜助言する。

展開1 導入
 前時までの学習について振り返り、本時の学習活動について確認する。
 避難所とはどのような場所か、どんな人々がやってくる可能性があるのか、どんな困り感を持ち支援を必要としているのかを共有する。

展開2 活動
 だれもが安心して過ごすことができる避難所の在り方について考える。
 子ども（乳児・幼児）・女性・高齢者・障害のある方にスポットを当て、それぞれの困り感や思いに寄り添った避難所とはどのような場所かについて考える。

展開3 まとめ
 ピラミッドチャートを使い、各班それぞれが考えた理想の避難所の在り方について全体で共有する。
 本時の学びや考えたことなどをロイロノートにまとめ、振り返りを全体で共有する。

単元計画

【単元の目標】
 防災学習を通して、災害の危険性や自他の命を守ることの大切さを理解し、災害時に実際に自分たちができることについて考えるとともに、様々な困り感をもつ人々への配慮や支援のあり方について考えることができる。

【単元の評価基準】
【知・理】 自然災害の危険性や災害時の命を守る行動について理解することができる。
【思・判・表】 避難所で生活をする困り感をもつ人々の課題について自分の意見を共有し、その解決策について考えることができる。
【関・意・態】 自然災害について意欲的に学習に取り組み、自分や身の回りの人の命や思いを大切にする方法を考えようとしている。

展開1 災害について知る（全6時間）
 ①どんな災害が日本各地や風間地域で起こっているか調べる。（2時間）
 ②ハザードマップを使って自分たちが住んでいる町は安全なのか調べる。（2時間）
 ③社会福祉協議会や防災士の出前授業を通して、自然災害が起こったときの命を守る行動や災害に対する備えを学習する。（2時間）

展開2 自分たちができることを考える（全13時間）
 ④自然災害が起こった後、人々が生活する避難所はどのような場所なのかを学習する。（GT：島尾さん・町危機管理課）（全3時間）
 ⑤災害後にはどのような課題が起こりうるのか、4つの視点に分けそれぞれの課題や必要な支援等について考える。（女性・高齢者・乳幼児・障害のある方）また、それぞれの立場の方にインタビューを行い、自分たちができる行動や理想の避難所の在り方について考える。【本時6/8】
 ⑥だれもが安心して過ごすことができる避難所の在り方について班で考え、幅広いアイデアについて共有する。（全2時間）

展開3 防災学習のまとめをする（全6時間）
 ⑦防災学習の学びを学習ツールにまとめ、社会福祉協議会や地域の方々に発信する準備をする。（全4時間）
 ⑧人や命が守られる地域にしていくために学習してきた今までの成果を学習発表会や東みよし町防災フェスタで発信する。（全2時間）

単元計画、本時の計画をロイロノートのプロット図を使って作成。
 単元計画については、見やすいように、QRコードも指導案に掲載。

◎公開授業（3年・5年教室）



3年 総合的な学習の時間（情報モラル）



5年 総合的な学習の時間（情報活用）

◎公開授業（6年教室）・授業研究会（体育館）



6年 総合的な学習の時間（プログラミング）



授業研究会（3・5・6年）

◎授業研究会での授業者の説明等（一部抜粋）

①情報モラル（3年）

家庭で撮られた写真の意図を考える活動で、児童は写真を見て、撮影者の意図を考えて読み取っていた。表現の仕方を考えるときに、人にはアドバイスできるが、自分の写真では撮り方がわからない児童が多い。

②情報活用（5年）

避難所で必要なものを、子ども、女性、高齢者、障がいをもつ方の4つの立場から考えて調べたが、情報を収集し発信するには個人差があり、意見を言うために引き出しが必要で、どんな支援が効果的かを知りたい。

③プログラミング（6年）

マインクラフトで作ったものを紹介し、創造性や協働性も高まってきたが、言語の習得に時間がかかり、ブロックの意味を理解することが難しく、プログラミングに個人差がある。

(3) 秋季研修会を終えて

① 成果

- 全学年でロイロノートや思考ツールを活用した授業づくりを行うことで、教職員間でアイデアを共有したり、アドバイスをしあったりできた。
- 児童がクロームブックやロイロノートの使い方に慣れてきた。
- 6年の授業では、マインクラフトを使って、グループで協力しながら施設をプログラミングして作ることができた。
- 授業研究会では、3つの学年同時にパッドレットを使って、多くの参加者から質問や意見等をいただき、回答できた。
- 思考ツールを目的に応じて様々な教科で活用する場面が増え、整理・分析する力が高まった。話し合いや協働の場面が増えた。
- 研究授業後に、ジャムボードでの授業の振り返りを行うことで、時間短縮やアドバイス共有ができた。

② 課題

- 思考ツールの効果的な活用についての研修が必要（講師依頼）
- 令和6年度研究主題のサブテーマの作成
- 児童の情報活用能力アンケート作成・実施
- 令和6年度の研究の視点の設定
- 校内研修年間計画（週2回）の修正・作成
- 情報活用能力年間指導計画の見直し

令和5年8月～6年6月7日 昼間小学校 研修年間計画(修正案)

週	第1週		第2週		第3週		第4週		第5週		備考
曜	火	木	火	木	火	木	火	木	火	木	
R6 4月	1(月)・2 新組織職員 会・セキュリ ティ研修(谷 藤先生)	3(水)・4 職員会 研修計画	8(月)	11 児童理解	15(月)	18 県情報教育 部会打ち合 わせ会	23 三好郡市小 教研部会総 会	25 家庭訪問	30 参観日準備	研究授業・ 授業研究会	4/8着任式 4/9入学式 4/18学力テ スト、4/25ス テップテスト
R6 5月	2 振替休業 日	7 指導案作 成・検討	9 学力向上 実行プラン	14 会場校研究 発表検討	16 公開授業準 備	21 公開授業準 備	23 教材・掲示 物作成	28 教材・掲示 物作成	30 授業準備・ 環境整備	5/9・10宿泊 学習5/23・24 修学旅行 5/24通足	
R6 6月	4 県統一大会 準備	6 前日準備	11	13	18	20	25	27			6/7徳島県小 学校放送・情 報教育研究 大会
R5 8月	1 個人研修	3 個人研修	8 個人研修	10 個人研修	15 個人研修	17 三好教育研 究発表会	22 個人研修	24 Google for Educationの 使い方(終 日)	29 個人研修	31 作品整理	8/28第2学 期始業式
R5 9月	5 個人研修	7 人権教育	12 個人研修	14 運動会準備	19 運動会予行 準備	21 運動会準備	26 随上練習で 研修なし	28 指導案の書 き方、クロム ブックの使 い方			9/20運動会 予行 9/24運動会
R5 10月	3 随上練習で 研修なし	5 県統一大会 国語部会提 案発表検討	10 校内支援委 員会	12 メンタルヘル ス	17 指導案検討	19 教材作成・ 準備、オー プンスケ ール準備	24 教材作成・ 準備	26 公開授業準 備	31 公開授業準 備・最終理 認		10/4郡市随 上運動記録 会
R5 11月	2 県放送・情 報教育秋 季研修会	7 秋季研修 会ふりか えり	9 特別支援 教育	14 みんなの学 習クラブ、こ ころの日記 の使い方	16 研修年間計 画	21 個人研修	23 勤労感謝の 日	28 児童理解	30 個人研修		11/2 県放 送・情報教育 秋季研修会 11/17 県統 一大会
R5 12月	5 秋季研修会 を終えての 成果と課題	7 期末職員会 コンプライ アンス	12 今年度の研 修計画、来 年度の研修 計画	14 来年度の統 一大会に向 けて	19 情報簿整理	21 副主題、情 報モラル・ブ ログラミング のアイデア 出	25(月)	28 個人研修			12/13 県情 報部会打ち 合わせ 12/22第2学 期終業式
R6 1月	2 個人研修	4 思考ツール (藤山裕先 生)	9 PBS(久原 有星先生)	11 児童の情報 活用能力の 実践、3領 域の捉え方	16 情報活用能 力段階表	18 学習発表会 準備	23 学習発表会 準備	25 学習発表会 準備	30 県研究計画 (案)、県統 一大会運営 計画(案)		1/9第3学期 始業式 1/28 学習発 表会
R6 2月	1 卒業式関係 職員会(全 体)	5(月)	7(水)	13 県統一大会 第2回打ち 合わせ会	15 情報活用能 力のベース ライン・アン ケート	20 卒業式及び かけ、情報 セキュリティ ポリシー	22 各種年間計 画の見直し	27 学習指導案 について	29 年度末職員 会		2/8 スキー 教室(4年) 2/27長縄集 会
R6 3月	6(水)	7 プログラミング (溝内正 剛先生)	12 コンプライ アンス	14 連絡判定会	19 思考ツ ール・ロイロ ノート(石井 秀生先生)	21 年度末整理	26 個人研修	28 個人研修			3/14 卒業式 3/22 修了式 履任式

研究授業について
 ・情報活用能力の向上を基盤とし、学習面の教育目標を具現化する内容に取り組む
 ・1学期に1回、2学期に1回、各学年で授業者の都合の良い日時に実施(年間計画では、6月と11月に予定)
 ・指導案は、ロイロノートを活用して作成し、小グループ(学年団等)で話し合う(火曜日の放課後・木曜日の研修時間等に)
 ☆県統一大会国語部会提案発表(小原)・ステップアップ研修(小原)

(4) 秋季研修会後の取組

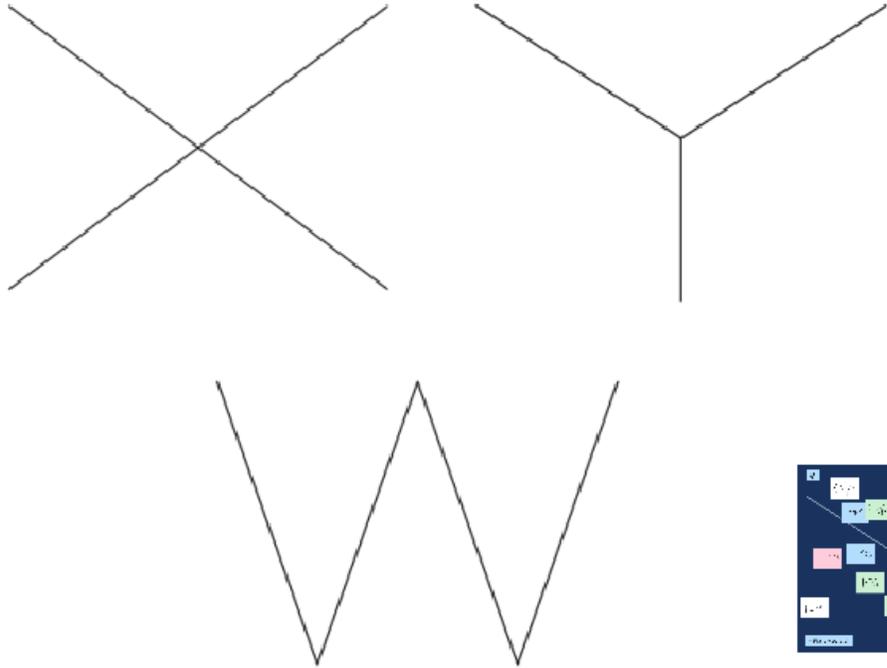
◎情報モラル・プログラミングのアイデア出し(ジャムボード)

低学年

情報モラル	プログラミング
<p>利用マナーについて考える(使いすぎ)</p> <p>タブレットはじめての使い方</p> <p>写真の撮影における個の感情感覚、考えを知る活動を通して、肖像権について触れる。</p>	<p>国語科「お話をつくろう」の単元で、自分が作った物語をプログラミングして動かす。</p> <p>図工の「すみっこちゃん？」を作って動かしたり隠したりする。</p> <p>生活科「なつとなかよし」の単元で、見つけた虫の特徴をビスケットで表現する。</p>
<p>「メディアバランス」を考えよう。テレビ、本、インターネット、新聞、電話等のバランスを考えて、自分の生活をふりかえり、目標を設定する。</p> <p>写真を撮るとき・・・他人は載せない、名前をけす</p> <p>CMの見方を考える(2年生ならいけるかも) CMから本当の情報とそうでない情報を見極め、メディアの見方を考える。</p>	<p>ビスケットで自分のキャラを作って動かそう。</p> <p>国語科で学習したお話の内容を図画工作科でペーパースーツ等で製作し、プログラミングで「じどうペーパースーツ」にする。</p> <p>toioみたいな簡単なものを使って、自分の思う通りに動かしてみるのもあり?(アンプラグドですが)</p>
<p>端末活用のルールを考える(一緒に約束を決める)【ウェルビーイングの視点?】</p>	<p>リズムづくり(ミュージックラボ)</p> <p>「プログラミングゼミ」を活用して、自分の絵を動かしてみよう</p> <p>アリロというプログラミング入門ロボットが研究所で借りられるのでそれを利用した授業</p>
<p>ジャムボード上で絵を描く。その際に班に分かれ、それぞれの担当を決めて共同作業を行う。</p>	

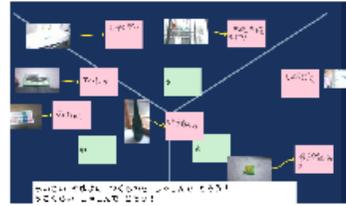
◎思考ツールを使った1・2学期の実践のまとめ(ジャムボードで)

X、Y、Wチャート

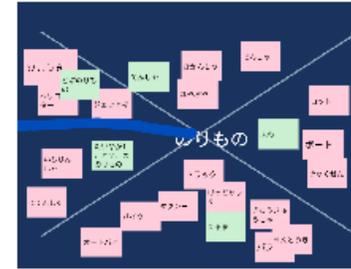


X, Y, Wチャート……………

- ・多面的に見る
- ・多角的に見る
- ・アイデアを出す
- ・焦点化する



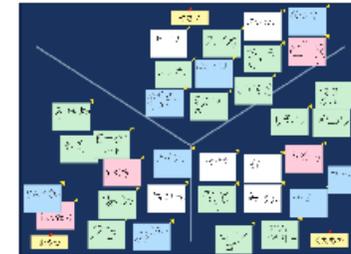
1年国語「小さいやゆよ」のつく言葉を家で見つけて、写真を撮る。見つけたものをひらがなでカードに書いて、写真とつなげる。それぞれの部屋へ分類。仲間分けしたものを友達と伝え合う。(7月)



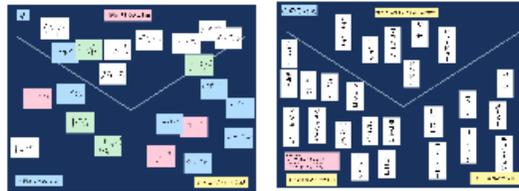
1年国語「まとめてよぶことば」乗り物の名前をカードに書く。仲間に分け、その仲間の名前をつける(線カード)どんな仲間分けをしたかその理由を友達と共有し、同じところと違うと伝え合う。(10月)



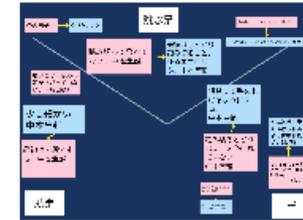
3年社会「まちの土地の使われ方」町探検で見つけたものを方位ごとに分類し、土地の使われ方が方位でどうなっているか探る。



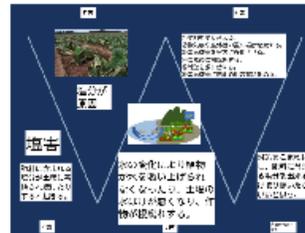
2年学活「共有シートの練習をしよう」班で共有シートの練習をした。班番号によってカードの色をかえている。全体で発表もした。(6月頃)



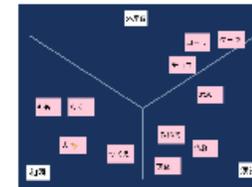
2年国語「かたかなで書くことば」教科書記載のかたかなの言葉を復習するときに活用した。その後、身の回りからかたかなの言葉を見つけ、項目ごとに分類した。2枚目の共有シートは全体でも共有した。(6月参観日)



4年体育「高跳び」体の部位に分けて、自分の記録を多角的に見られるようにした。自分の現状-理想の自分を表現し、実現してできるようにした。



5年国語「環境問題」環境問題の定義や原因、問題や対策など各項目ごとに分類した。(6月)



5年国語「和語、漢語、外来語」調べたものや自分で思いついたものを書くテーマごとに分け、全体で共有した。(10月)

◎児童の情報活用能力段階表作成(学級担任評価)

基本的な操作スキル、探究スキル、プログラミングスキル、情報モラルスキル

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
基本的な操作スキル	Chromebookの電源を入れたり消したりできる。	Chromebookの再起動の操作ができる。	自分のアカウントを入力できる。	自分のアカウントのログイン・ログアウトができる。		
	学習で使用するアプリを自分で起動することができる。	学習で使用するアプリを自分で起動することができる。	正確なホームポジションでキーを打つことができる。	正確なホームポジションでキーを打つことができる。	キーボードを見ず、正しい位置からタイピングができる。	キーボードを見ず、正しい位置からタイピングができる。
	学習用タブレットを使って文字入力することができる。	学習用タブレットを使って文字入力することができる。(漢字)	ローマ字入力で、適切な漢字の入力ができる。	ローマ字入力で、正しい位置から正しい漢字の入力ができる。(1分程度以内)	ローマ字入力で、正しい位置から正しい漢字の入力ができる。(1分程度以内)	ローマ字入力で、正しい位置から正しい漢字の入力ができる。(1分程度以内)
	間違えた文字をバックスペースや消しゴム機能を使って消し、正しい文字に直すことができる。	間違えた文字をバックスペースや消しゴム機能を使って消し、正しい文字に直すことができる。	間違えた文字をバックスペースや消しゴム機能を使って消し、正しい文字に直すことができる。	間違えた文字をバックスペースや消しゴム機能を使って消し、正しい文字に直すことができる。	間違えた文字をバックスペースや消しゴム機能を使って消し、正しい文字に直すことができる。	間違えた文字をバックスペースや消しゴム機能を使って消し、正しい文字に直すことができる。
			コピー・ペーストができる。	コピー・ペーストがショートカットキーを使ってできる。		
	Chromebook (ロイノート) で写真や動画を撮影することができる。	Chromebook (ロイノート) で写真や動画を撮影することができる。	Chromebook (ロイノート) で、目的をもちて写真や動画を撮影することができる。	Chromebook (ロイノート) で、目的をもちて写真や動画を撮影することができる。	Chromebook (ロイノート) で撮影した写真や動画、文字などを組み合わせて簡単な編集をすることができる。	Chromebook (ロイノート) で撮影した写真や動画、文字などを組み合わせて簡単な編集をすることができる。
	Chromebook (ロイノート) で音声の録音ができる。	Chromebook (ロイノート) で音声の録音ができる。	Chromebook (ロイノート) で写真や動画、音声をつかいて、必要な情報だけ切り取ることができる。	Chromebook (ロイノート) で写真や動画、音声をつかいて、必要な情報だけ切り取ることができる。	Chromebook (ロイノート) で写真や動画、音声をつかいて、必要な情報だけ切り取ることができる。	Chromebook (ロイノート) で写真や動画、音声をつかいて、必要な情報だけ切り取ることができる。
	自分でQRコードを読み込むことができる。	自分でQRコードを読み込むことができる。	Chromebook (ロイノート) で撮った写真をマイドライブに移すことができる。	Chromebook (ロイノート) で撮った写真を自分で共有することができる。	ロイノートの情報を整理し、学習に必要な情報だけ取り出すことができる。	ロイノートの情報を整理し、学習に必要な情報だけ取り出すことができる。
	フォルダやロイノートの資料箱に保存してあるファイルから学習で使うものを探したり、ロイノートに貼り付けたりすることができる。	フォルダやロイノートの資料箱に保存してあるファイルから学習で使うものを探したり、ロイノートに貼り付けたりすることができる。	ロイノートの共有ノートや印刷物の共有機能を使って、友達の考えを知ったり、友だちに考えを伝えたりできる。	ロイノートの共有機能や送る機能を使って、友達と自由に意見交換することができる。	ロイノートの共有機能や送る機能を使って、友達と自由に意見交換することができる。	ロイノートの共有機能や送る機能を使って、友達と自由に意見交換することができる。
	Googleドライブのマイドライブ内に、新しくフォルダを作ることができる。	Googleドライブのマイドライブ内に、新しくフォルダを作ることができる。	Googleドライブに新しく自分フォルダを作ったり、ファイルの名前を変更したりできる。	Googleドライブに新しく自分フォルダを作ったり、ファイルの名前を変更したりできるように変更したりすることができる。	Googleドライブに新しく自分フォルダを作ったり、ファイルの名前を変更したりできるように変更したりすることができる。	Googleドライブに新しく自分フォルダを作ったり、ファイルの名前を変更したりできるように変更したりすることができる。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
探究スキル	複数のカードに情報を書くことができる。	複数のカードに情報を書くことができる。	複数の情報を分類、整理することができる。	複数の情報を分類、整理することができる。	複数の情報を分類、整理することができる。	複数の情報を分類、整理することができる。
	教師が示した思考ツールに従って、カードを動かすことができる。	教師が示した思考ツールに従って、カードを動かすことができる。	教師が示した思考ツールを目的に合わせて選択し、整理する方法を理解している。	教師が示した思考ツールを目的に合わせて選択し、整理する方法を理解している。	教師が示した思考ツールを目的に合わせて選択し、整理する方法を理解している。	教師が示した思考ツールを目的に合わせて選択し、整理する方法を理解している。
	質問をタブレットなどに用いて、インタビューできる。	質問をタブレットなどに用いて、インタビューできる。	実験結果や資料をもとに、思考ツールなどに整理して表すことができる。	実験結果や資料をもとに、思考ツールなどに整理して表すことができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。
	いくつかの情報をロイノートの思考ツールを用いて、分類し、整理することができる。	いくつかの情報をロイノートの思考ツールを用いて、分類し、整理することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。
	伝えたいことを思考ツールを用いて簡単に整理し、説明することができる。	伝えたいことを思考ツールを用いて簡単に整理し、説明することができる。	よりよい発表のために、思考ツールを用いて目的を整理することができる。	よりよい発表のために、思考ツールを用いて目的を整理することができる。	自分の考えを伝えるために、思考ツールを用いて整理をすることができる。	自分の考えを伝えるために、思考ツールを用いて整理をすることができる。
	たくさんの方の意見を聴くと、よりよくなることを知ることができる。	たくさんの方の意見を聴くと、よりよくなることを知ることができる。	同じことや違うことを比べると、たくさん知ることがわかる。	調べた情報を友達の情報と比較したり、他の人の考えを聞いて、自分なりに考えたりすることができる。	調べた情報を友達の情報と比較したり、他の人の考えを聞いて、自分なりに考えたりすることができる。	調べた情報を友達の情報と比較したり、他の人の考えを聞いて、自分なりに考えたりすることができる。
	友達の話をして、質問や感想を伝えることができる。	友達の話をして、質問や感想を伝えることができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。
	学びの振り返りを表現することができる。	学びの振り返りを表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。
	学びを振り返り、次の学習の目標設定が計画や友達とともにできる。	学びを振り返り、次の学習の目標設定が計画や友達とともにできる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。	調べたことを用い、疑問や疑問にかけたり表すことなどによって整理した形で、情報の整理、分類、変化を表現することができる。
			Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。	Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。	Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。	Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
プログラミングスキル			Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。	Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。	Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。	Scratchなどのプログラミング教材の操作を理解し、簡単な処理を行うことができる。
			問題解決のための手順を、順次や繰り返しで表現することができる。	問題解決のための手順を、順次や繰り返しで表現することができる。	問題解決のための手順を、順次や繰り返しで表現することができる。	問題解決のための手順を、順次や繰り返しで表現することができる。
			情報の整理や繰り返し処理、条件分岐処理を組み合わせて、コンピュータで実行するための指示が必要なことを理解している。	情報の整理や繰り返し処理、条件分岐処理を組み合わせて、コンピュータで実行するための指示が必要なことを理解している。	情報の整理や繰り返し処理、条件分岐処理を組み合わせて、コンピュータで実行するための指示が必要なことを理解している。	情報の整理や繰り返し処理、条件分岐処理を組み合わせて、コンピュータで実行するための指示が必要なことを理解している。
			情報と情報の関係を図で表すことができる。	情報と情報の関係を図で表すことができる。	情報と情報の関係を図で表すことができる。	情報と情報の関係を図で表すことができる。
			実行手順を繰り返し、問題解決の方法や改善案を見出すことができる。	実行手順を繰り返し、問題解決の方法や改善案を見出すことができる。	実行手順を繰り返し、問題解決の方法や改善案を見出すことができる。	実行手順を繰り返し、問題解決の方法や改善案を見出すことができる。
			結果を出すのに必要な「ラジエーター」を設定することができる。	結果を出すのに必要な「ラジエーター」を設定することができる。	結果を出すのに必要な「ラジエーター」を設定することができる。	結果を出すのに必要な「ラジエーター」を設定することができる。
			情報のプログラミングを調べる。自分の表現したいものを表現し、繰り返しや繰り返し処理を組み合わせて表現することができる。(Mineract)	情報のプログラミングを調べる。自分の表現したいものを表現し、繰り返しや繰り返し処理を組み合わせて表現することができる。(Mineract)	情報のプログラミングを調べる。自分の表現したいものを表現し、繰り返しや繰り返し処理を組み合わせて表現することができる。(Mineract)	情報のプログラミングを調べる。自分の表現したいものを表現し、繰り返しや繰り返し処理を組み合わせて表現することができる。(Mineract)
			メディアがもたらす心身の影響について理解し、ルールを守って利用することができる。	メディアがもたらす心身の影響について理解し、ルールを守って利用することができる。	メディアがもたらす心身の影響について理解し、ルールを守って利用することができる。	メディアがもたらす心身の影響について理解し、ルールを守って利用することができる。
			インターネット上で困ったことがあったときは、大人に相談できる。	インターネット上で困ったことがあったときは、大人に相談できる。	インターネット上で困ったことがあったときは、大人に相談できる。	インターネット上で困ったことがあったときは、大人に相談できる。
			情報の目的や所有権や著作権の存在を知っている。	情報の目的や所有権や著作権の存在を知っている。	情報の目的や所有権や著作権の存在を知っている。	情報の目的や所有権や著作権の存在を知っている。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
情報モラルスキル			適切なやりかたで、必要な情報や動画を上手に活用することができる。	適切なやりかたで、必要な情報や動画を上手に活用することができる。	適切なやりかたで、必要な情報や動画を上手に活用することができる。	適切なやりかたで、必要な情報や動画を上手に活用することができる。
			複数の資料から、情報を整理しながら適切に読み取ることができる。	複数の資料から、情報を整理しながら適切に読み取ることができる。	複数の資料から、情報を整理しながら適切に読み取ることができる。	複数の資料から、情報を整理しながら適切に読み取ることができる。
			自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。
			自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。	自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。	自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。	自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。
			電子機器を使って良い場所や時間を理解し大切に扱っている。	電子機器を使って良い場所や時間を理解し大切に扱っている。	電子機器を使って良い場所や時間を理解し大切に扱っている。	電子機器を使って良い場所や時間を理解し大切に扱っている。
			自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。	自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。	自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。	自分や他の人の個人情報に大切に扱うことを理解している。
			自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。
			自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。
			自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。
			自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。	自分の権利とプライバシーについて知り、情報を正しく扱うことができる。

◎児童の情報活用能力アンケート(自己評価)

低・中・高学年別に、フォームを使ってアンケート(2月末)

3領域(情報活用、情報モラル、プログラミング)についての質問項目

令和5年度 情報活用能力アンケート(1・2年)集計結果

調査項目(1・2年)	じしんがある	すこしじしんがある	あまりじしんがない	じしんがない
1 タブレットで、しゃしんやビデオをとる。	72.9	11.9	10.2	5
2 じぶんでQRコードをよみこむ。	70.7	20.7	5.2	3.4
3 クラスルームで、先生からのメッセージをよむ。	91.5	5.1	0	3.4
4 タブレットで、しりたいことをしらべる。	74.6	15.3	6.8	3.3
5 スマイルドリルのもんだいに、こたえる。	72.9	20.3	1.7	5.1
6 手がきパッドをつかって、文字を入力する。	88.1	6.8	5.1	0
7 タブレットで、アンケートにこたえる。	81.4	11.9	6.7	0
8 ロイロノートで、おおくのカードにじょうほうをかく。	64.4	27.1	5.1	3.4
9 しこうツールをつかうときに、もくてきにあったように、カードをうごかす。	67.8	25.4	5.1	1.7
10 しこうツールをつかって、わけたり、せいりしたりする。	76.3	13.6	8.5	1.6
11 ロイロノートでつくったカードを見ながら、ともだちのはなしをきいて、しつもんやかんそうをつたえる。	61	28.8	6.8	3.4
12 しつもんをタブレットによいして、インタビューをする。	67.8	22	10.2	0
13 タブレットをつかって、まなびのふりかえりをする。	78	22	0	0
14 じぶんやともだちのじょうほうを、ほかの人におしえない。	93.2	3.4	1.7	1.7
15 じぶんのIDやパスワードをたいせつにして、おぼえる。	87.9	10.3	1.8	0
16 タブレットは、ルールをまもって、あんぜんにつかう。	83.1	13.6	3.3	0
17 タブレットをつかうばしよやじかんをして、たいせつにする。	84.5	8.6	5.2	1.7

令和5年度 情報活用能力アンケート(3・4年)集計結果

調査項目(3・4年)	自信がある	少し自信がある	あまり自信がない	自信がない
1 クロムブック(ロイロノート)で、目的をもって写真や動画を取り、ひつようなところだけ切り取る。	34.5	44.8	19	1.7
2 コピー・ペーストの仕方がわかる。	65.5	20.7	10.3	3.5
3 クラスルームの課題に取り組み、提出する。	81	10.3	8.7	0
4 クロムブックでアンケートに答えたり、アンケートを作ったりする。	32.8	34.5	29.3	3.4
5 インターネットで調べるときに、キーワードを組み合わせてけんさくする。	70.7	19	8.6	1.7
6 ホームポジションからキーを打ち、正かくにローマ字入力をする。	63.8	27.6	8.6	0
7 まちがえた文字だけを消して、正しく直す。	80.7	8.8	10.5	0
8 図や写真を入れて、グーグルスライドなどでまとめる。	46.6	31	19	3.4
9 グーグルドライブに新しくフォルダを作ったり、ファイルの名前をかえたりする。	51.7	32.8	6.9	8.6
10 それぞれの思考ツールに合った使い方がわかる。	34.5	36.2	24.1	5.2
11 思考ツールを使って、自分でじょうほうを分けたり整理したりする。	43.1	44.8	10.3	1.8
12 その場で見たり聞いたりして、ぎもんに思ったことをインタビューする。	36.2	31	20.7	12.1
13 表や図を使って、相手や目的を意きしたプレゼンテーションをする。	28.1	38.6	21.1	12.2
14 学びをふり返り、文章で表げんする。	58.6	27.6	10.3	3.5
15 Scratchを使って、自分が考えた動きをしじる。	29.3	37.9	25.9	6.9
16 メディアの利用が、心や体にどんなえいきょうをおよぼすかを知っている。	67.2	20.7	6.9	5.2
17 ルールを守り、自分や他の人の個人じょうほうを大切にす。	69	29.3	1.7	0
18 インターネットが「公共の場」であることを知り、マナーを守って行動する。	72.4	20.7	6.9	0
19 インターネット上にあるじょうほうが正しいか、たしかめる方法を知っている。	17.2	25.9	36.2	20.7

◎情報活用能力段階表・情報活用能力アンケートによる児童の実態からの課題

- ①情報収集を適切に読み取れていない
- ②集められた情報から、分類整理する力が弱い
- ③探究スキルに課題が残る
- ④メディアバランスが弱い
- ⑤思考ツールの目的に応じた使い方ができていない

◎「研究のキーワード」を設定

①情報モラル

「責任」「ルールを守る」「ネットワークの善き使い手」

②情報活用

「情報の収集・整理・分析」「学ぶための技を身につける」

③プログラミング

「良さ・便利さ・おもしろさに気づく」「実生活の中で役立てる」

◎6年間で児童に身につけさせたい力 「研究のキーワード」をもとに設定

①情報モラル

「ネットワークの善き使い手になるため、責任を持った言動ができる。」

②情報活用

「学ぶための技を身につけ、自分の考えを形成することができる。」

③プログラミング

「プログラミングの良さ・便利さ・おもしろさに気づき、実生活の中で役立てることができる。」

◎研究の仮説

- ①統一された学習ツール（ロイロノート）を活用し、普段の授業の中で個別と協働の学びを自己調整しながら繰り返し行うことで、収集した情報をもとに思考ツールを選択し、根拠をあきらかにすることができるのではないか。
- ②比較・整理・分析するための視点を明確にすることで、自分自身の考えが広げられ、目的に応じた思考ツールの使い方を繰り返し行うことで、探究する力に高まりがみられるのではないか。
- ③情報モラル教育やデジタルシティズンシップ教育の視点から、集められた情報を読み解き、正しい情報である根拠を明らかにすることで、自分の考えに根拠をもち、情報のよき発信者となるための資質・能力が高まるのではないか。

◎研究の視点

①情報モラル

生活の中で、安全なインターネット等の使い方を考え、自分で意思決定をして、話し合う中で責任を持って、情報の善き使い手になることができたか。

②情報活用

目的に応じて、思考ツールを活用して、思考スキルを高め、自分の考えを広げ、意見を共有し、協働的な学びが深まったか。

③プログラミング

自分で作成したプログラムの手順や組み合わせ方を考え、発表や意見交流をする活動は、プログラミング的思考や実生活で役立つことにつながったか。

◎3領域について、講師による研修

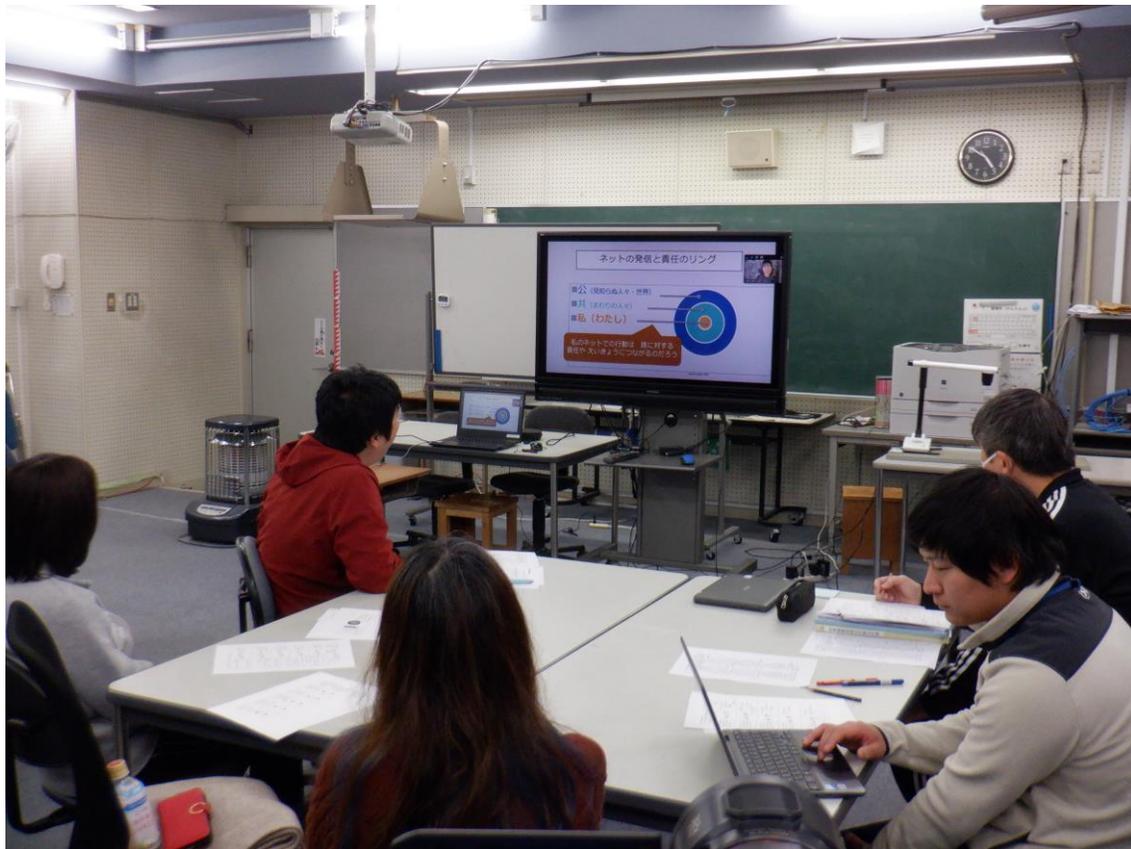


課題の設定	聞いた話から	ゴール(目標)をたてて、すべきことをおろす	困ったことは何か	疑問に思ったこと	不思議に思うこと	自己分析を行い、課題を見つける
情報の収集	本	インターネットで調べる	知っている人に聞く	テレビ	新聞	見学 体験
整理・分析	表	思考ツール	共通項を集め、メモにまとめる	原因、この先の見通し	付箋に書く→貼る	
まとめ・表現	スライド	ポスター	人に話す	広告	手紙	新聞

①思考ツールの講義、ワークショップ(対面)1月 ジャムボードを使って

◎3領域について、講師による研修

③プログラミング教育の研修(オンライン)
3月



②情報モラル・デジタルシティズンシップの研修
(オンラインで講義、ワークショップ) 2月



④思考ツール研修(対面) 3月

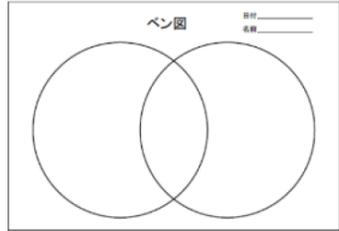
(5) 令和6年度1学期前半の取組

◎「スプレッドタイム」の開始

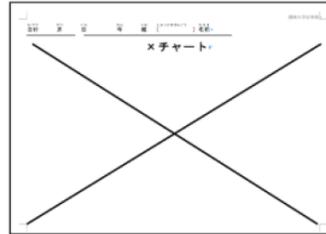
児童の思考スキルを高めるために、月曜日から木曜日までの朝の活動の時間(15分間)に、思考ツールを活用した学習を開始

育てたい「思考スキル」として、比較する(ベン図)、多面的に見る(くま手・フィッシュボーン)、分類する(XYWチャート)、構造化する(ピラミッドチャート)、広げる(イメージマップ)、理由付け(クラゲチャート)の思考ツールを1週間ごとに、テーマを選んで活用中

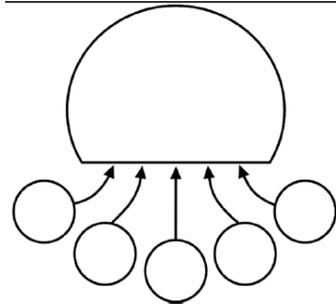
◎「スプレッドタイム」の開始



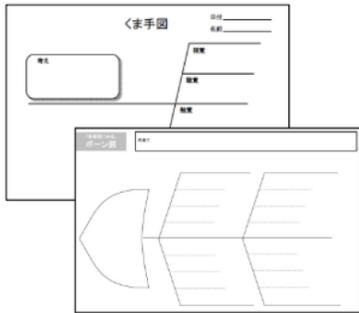
比較する



分類する

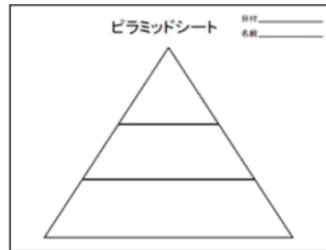


理由づけ

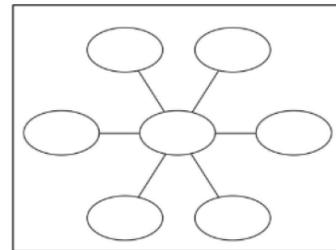


多面的にみる

1つのスキルに対して1つのツールを固定



構造化する



広げる

ワークシート

朝の活動_思考ツール_計画表

時間帯：8:15～8:30

内容：朝の学習で、思考ツールを活用した活動を行う。

育てたい「考える」：比較する（ベン図）、多面的に見る（くま手・フィッシュボーン）、分類する（XYWチャート）、構造化する（ピラミッドチャート）、広げる（イメージマップ）

方法：ロイロノートもしくは紙（各自印刷）

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
	学級裁量	学級裁量	学級裁量	学級裁量		
14	15	16	17	18	19	20
	ベン図	ベン図	ベン図	ベン図		
21	22	23	24	25	26	27
	イメージマ...	イメージマ...	イメージマ...	イメージマ...		
28	29	30				
学級裁量	昭和の日	XYWチャート				

思考ツールのスケジュール表

◎オンラインで助言者と授業者、授業協力者が指導案等について打ち合わせ会（放課後）



◎指導案は校内で共通の形式を決めて作成し、指導案にコメントも

第54回放送教育研究会徳島大会並びに
第54回徳島県小学校放送・情報教育研究大会
令和6年6月7日(金)午後開催

◎公開授業、授業研究会

1年(情報活用)生活科 2年(情報モラル)特別活動

3年(プログラミング)音楽科 4年(プログラミング)総合的な学習の時間

5年(情報活用)外国語科 6年(情報モラル)総合的な学習の時間

◎全体会(講演:堀田龍也先生)

4 おわりに

◎会場校研究主題

未来を切り拓く情報活用能力の育成を目指した教育活動の推進
—一人一人のよりよい学びをめざし、考えを広げる教育活動の充実—

令和5年4月から1年2か月間の取組や研究実践の発表となり、
まだ研究実践の途中なので、今後も研究実践を深めていきたい

本校の研究に際して、ご指導ご協力いただいたすべての皆様に
厚くお礼を申し上げます。

ご静聴ありがとうございました